

日中対照言語学会会報 (No.24)

2013年11月25日(月)発行 会報担当：高橋弥守彦 豊嶋裕子

目次

1. 日中対照言語学会第30回大会(2013年度冬季大会)プログラム
2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果(2013年10月13日[日])
3. 常務理事・理事の推薦について
4. 10.11月定例月例会報告

※事務局より

1. 日中対照言語学会第30回大会(2013年度冬季大会)プログラム

日中対照言語学会第30回大会(2013年度冬季大会)のご案内

本学会では、下記の要領で2013年度春期大会を開催いたします。会員の皆さまには、お誘い合わせのうえ奮ってご参加下さい。また、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

記

日時：2013年12月15日(日) 午前9時00分より午後5時30分まで

会場：大阪産業大学梅田サテライト(JR大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、徒歩約5分、大阪駅前第三ビル19階。大阪市北区梅田1-1-3。電話 06-6442-5522)

参加費：1000円(会員、非会員共通)

プログラム

受付(9:00-) 総合司会 安本真弓(高千穂大学)

大会開催校挨拶 張黎(大阪産業大学) 9:20-9:30

開会の辞 余維(関西外国語大学) 9:30-9:40

研究発表1. 日本語の「てもいい」と中国語の“可以”

王其莉(西南学院大学言語教育センター) 9:40-10:15

研究発表2. 「べきだ」と「なければならない」 10:15-10:50

ーバ節との共起から見た両者の差異を中心にー王慈敏(千葉大学人文社会科学研究科)

以上司会 彭飛(京都外国語大学)

休憩(15分:10:50-11:05)

研究発表3. 否定の働きかけの日中対照研究 11:05-11:40

王慶(九州外国語学院・専任講師)

研究発表4. とりたて詞と中国語表現 11:40-12:15

藤田昌志(三重大学) 以上司会 于康(関西学院大学)

昼休み(60分 ビルの階下に食堂街あり) 12:15-13:15

講演1 日本語の意味階層構造に関わるいくつかの話題 13:15-14:15

益岡隆志(神戸市外国語大学) 司会 下地早智子(神戸市外国語大学)

講演 2 英語におけるモダリティの分類と否定の作用域をめぐって：日英比較の観点から

14：15－15：15

澤田治美（関西外国語大学） 司会 余維（関西外国語大学）

休憩（20分：15：15－15：35）

研究発表 5. “呢”の時間性と語気性について

15：35－16：10

王学群（東洋大学）

研究発表 6. モダリティ表現の語順

16：10－16：45

高橋弥守彦（大東文化大学） 以上司会 続三義（東洋大学）

閉会の辞 豊嶋裕子（東海大学）

16：45－17：00

※入会申し込み、学会開催当日に学会費の納入も受け付けます。（年会費：社会人 4000 円、院生 2000 円）

2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果

日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果

2013年10月13日（日）14時～17時 於 東洋大学8号館M201号室

出席者：高橋弥守彦、豊嶋裕子、佐藤富士夫、王学群、続三義、椿正美、竹島毅、山口直人、安本真弓

議題：

（1）次期理事長候補について

前回の拡大理事会において次期理事長の候補者を複数挙げ、依頼を行ってきた結果、最終的に東洋大学の続三義先生を次期理事長として推薦し、12月大会での拡大理事会、5月大会の総会での承認を経て、5月より新執行部が成立する予定である。なお、続三義先生より、次期理事長を担当するにあたっては、現在更新の遅れている本学会のホームページの運営を正常化することが不可欠であるとの条件が提示された。この件については、（5）の「その他」において述べる。

（2）2013年度日中対照言語学会冬季大会について

日中対照言語学会第30回大会（2013年度冬季大会）は「モダリティ特集大会」として行う。詳細は以下のとおりである。

1) 日時：2013年12月15日（土）午前9時より午後5時30分まで

2) 会場：大阪産業大学梅田サテライト

3) 講演予定者：益岡隆志（神戸市外国語大学）、澤田治美（関西外国語大学）

研究発表予定者：王慈敏（千葉大学）、王其莉（西南学院大学）、藤田昌志（三重大学）、王慶（九州外国語学院）、王学群（東洋大学）、高橋弥守彦（大東文化大学）

4) 発表時間：発表（25分）、質疑応答（10分）時間は従来通り。

5) 司会者等：上記プログラムのとおり。

6) アルバイト：受付2名、時間係1名、マイク係1名の計4名。日当は6千円＋昼食代500

円

大会当日の拡大常務理事会には参加者各位が昼食を持参し、参加者に 1000 円昼食代として会計より渡す。

- 7) お茶代：午前、午後ともそれぞれ 2 千円（紙コップ代等含む）
- 8) 常任理事会は冬季大会の昼休みに開催する。今年より出欠を事前に確認し、出席者を把握する旨、提案がなされ、合意を得た。

なお、8 月 3 日の拡大常務理事会で決定した、参加者への交通費支給について、①3000 円を上限とする。②5 月・12 月大会時の拡大常務理事会では交通費を支給しない。の 2 点が追加承認された。

(3) 学会誌第 16 号について

現在 13 本の投稿があり、例年通り査読によって選考する。編集委員長・査読委員長を選出し、査読手順を確認。発行部数は 250 部とする。出版費は 20 万円。ただし、特集号の出版費用は従来通り 10 万円である。

(4) 中国支部との連絡

8 月 3 日（土）拡大理事会での決定事項に基づき、10 月 13 日付で高橋理事長より、中国支部の朴貞姫先生へ以下の 3 点について文書交換を行いたい旨の連絡を入れる。中国支部で承認されれば、10 月中に理事長の北京出張の際に文書を取り交わす。

1. 中国側会費は一般会員 200 元、学生会員 100 元
2. 会費分配比率は日本 5：中国 5
3. 為替レートの変動が予想されるため、日中双方で 2 年ごとに分配比率を見直す

10 月以降、中国支部の今年度の会員が確定して日本への送金が行われた後に、中国支部へ学会誌を送付する。学会費の中国支部から日本への送金方法については、北京支店のある東京三菱銀行や、手数料の安い西聯などの案も提示しつつ、双方の便を考慮し、相談の上、妥当な方法を決める。

この件については中国支部の責任者朴貞姫先生と相談しながら進めていく。現在、中国支部長の朴貞姫先生が中国支部の会員の意見を確認している最中である。

(5) その他

今後の本学会のホームページ（HP）の運営について、以下の提案がなされ、合意を得た。

- 1) HP の管理者およびプロバイダの変更。
- 2) 新管理者として上地宏一先生（大東文化大学）に新しい HP の開設、および以後の管理を依頼し、理事長より、11 月開設が可能か打診する。開設と同時に旧 HP には契約期間の来年 3 月まで、新 HP への移行連絡（リンク）のみを公開し、混乱を避けるよう依頼する予定。
- 3) 新管理者には、①開設作業の謝礼 1 万円、②バックアップ用の外付け HD 等必要物品の購入実費、③今後管理費として月額 1 千円（年間 1 万 2 千円）を支払う。

（以上文責 豊嶋裕子）

3. 常務理事・理事の推薦について

関西地区の常務理事・理事が若干少ないので、現在の執行部の方々に関西地区の理事や会員に呼びかけて増やす方向で働きかけてもらう。

4. 10. 11月定例会報告

10月月例会

発表者：神野智久会員

テーマ：“把 NP+V+在+L” 中的动词和“在” — 并谈关于“把房子买在 L” —

日時：2013年10月19日（土）18：00～20：00

場所：大東文化会館 k-302

中国語独特な構文だが、活発な意見交換があり、連語論の観点から見た“把字句”の内の動詞と空間詞に関する問題点が明らかにされた。

11月月例会

発表者：洪安瀾（大東文化大学博士後期課程）

テーマ：現代中国語「動詞存在文」について

日時：2013年11月9日（土）12：00～14：00

場所：大東文化会館 k-402

「動詞存在文」に関する発表者の見解が明らかにされた。会場からは、存現分や所在文などとの区別をいっそう明確にするようにという意見もあり、質疑応答は活発に行われた。

（以上文責 高橋弥守彦）

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（Lwn365@yahoo.co.jp）、または竹島毅理事（sisi@crest.ocn.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4000 円、院生 2000 円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
2013 年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしく願いいたします。